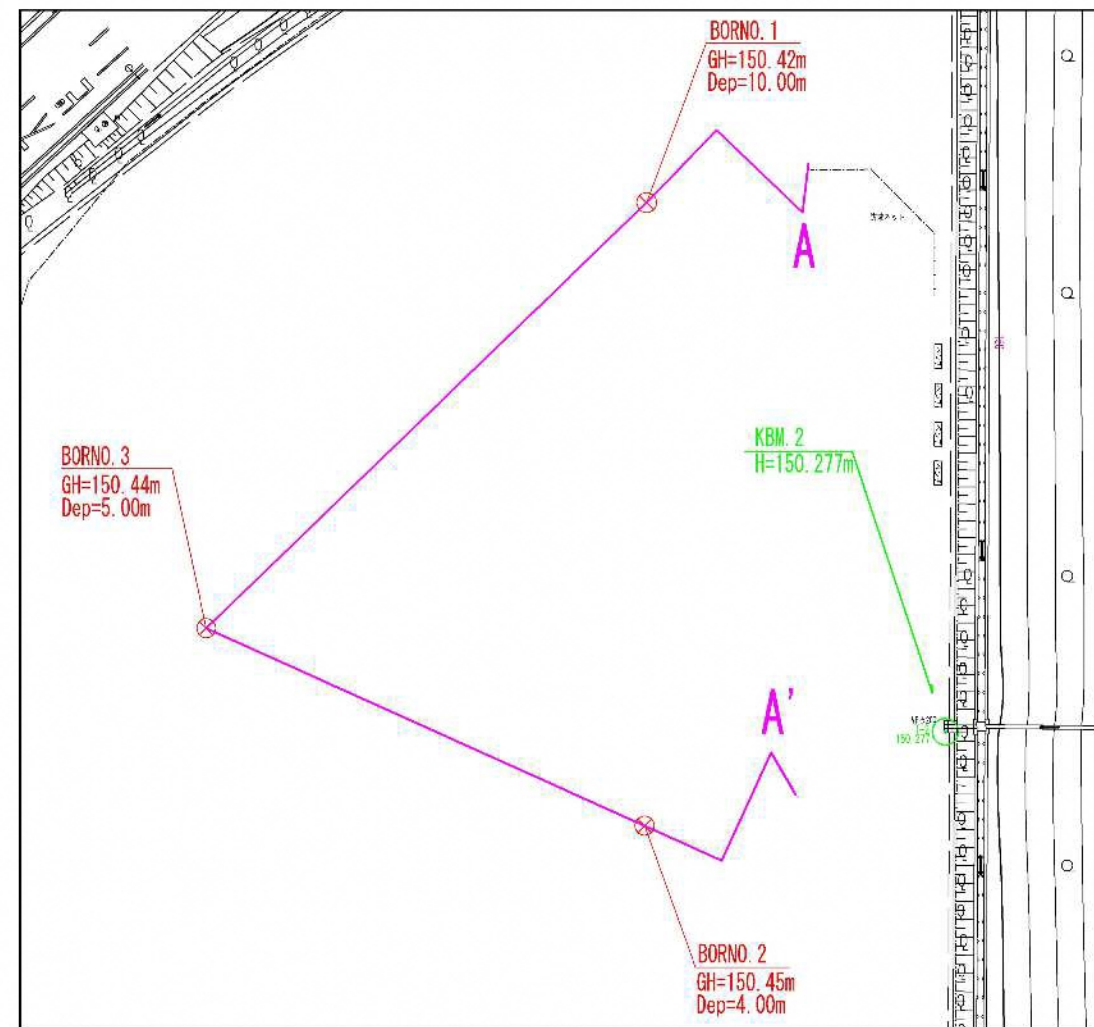
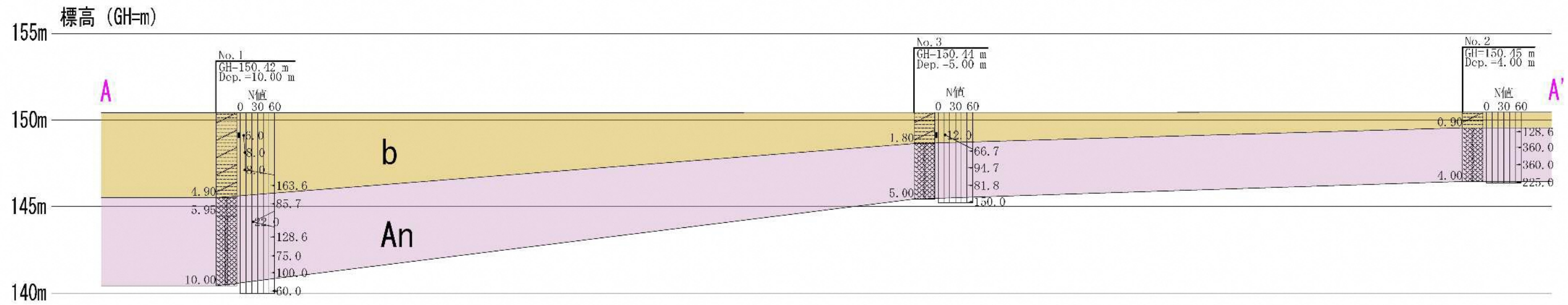


地層断面図 1:250 (A3)

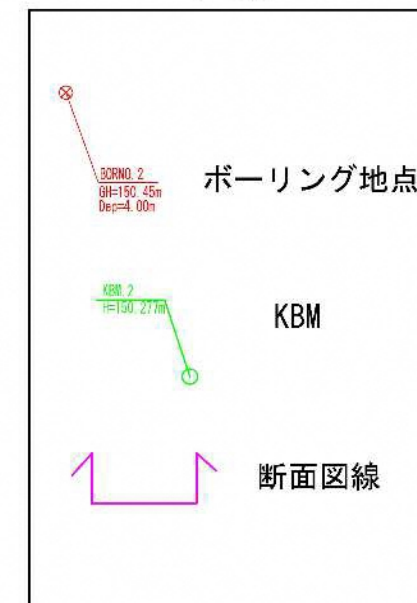


平面図 1:500 (A3)

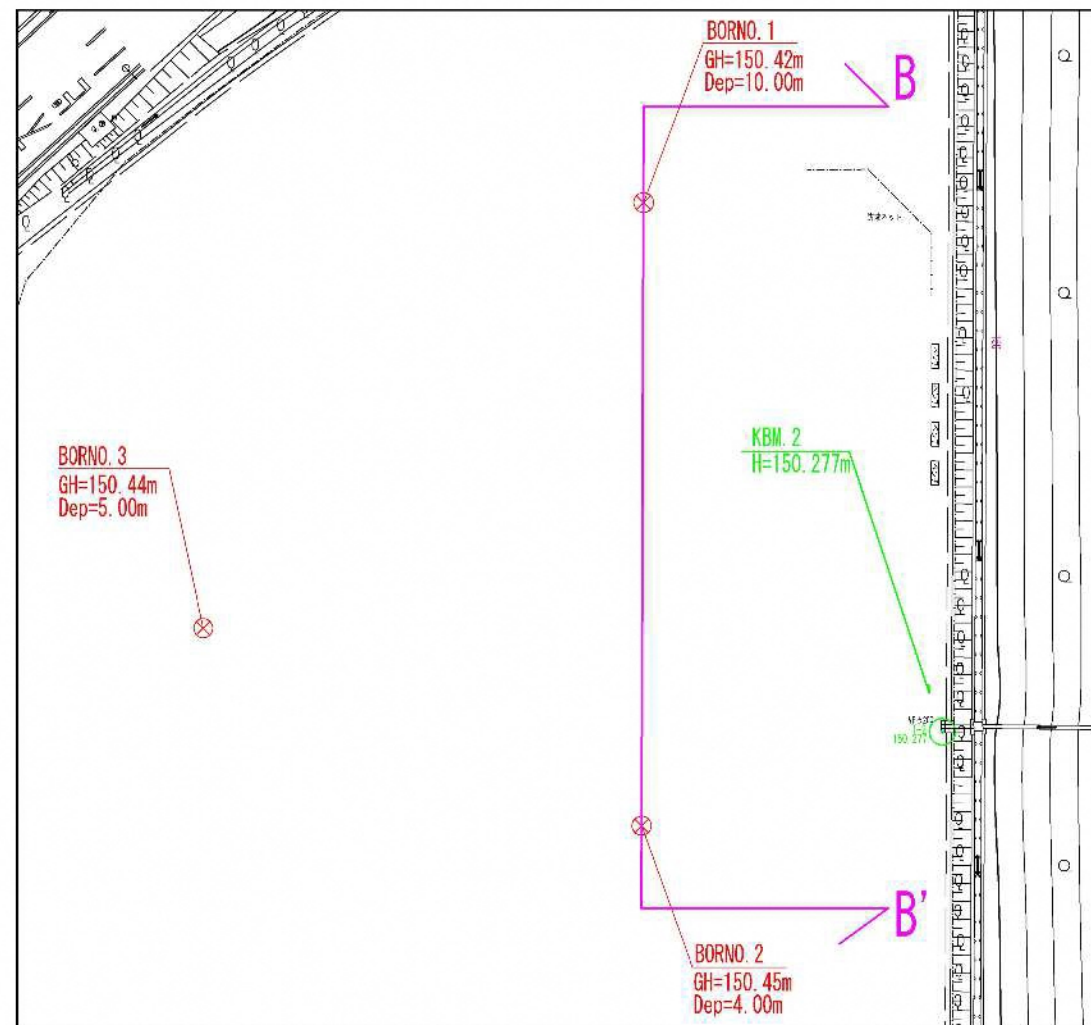
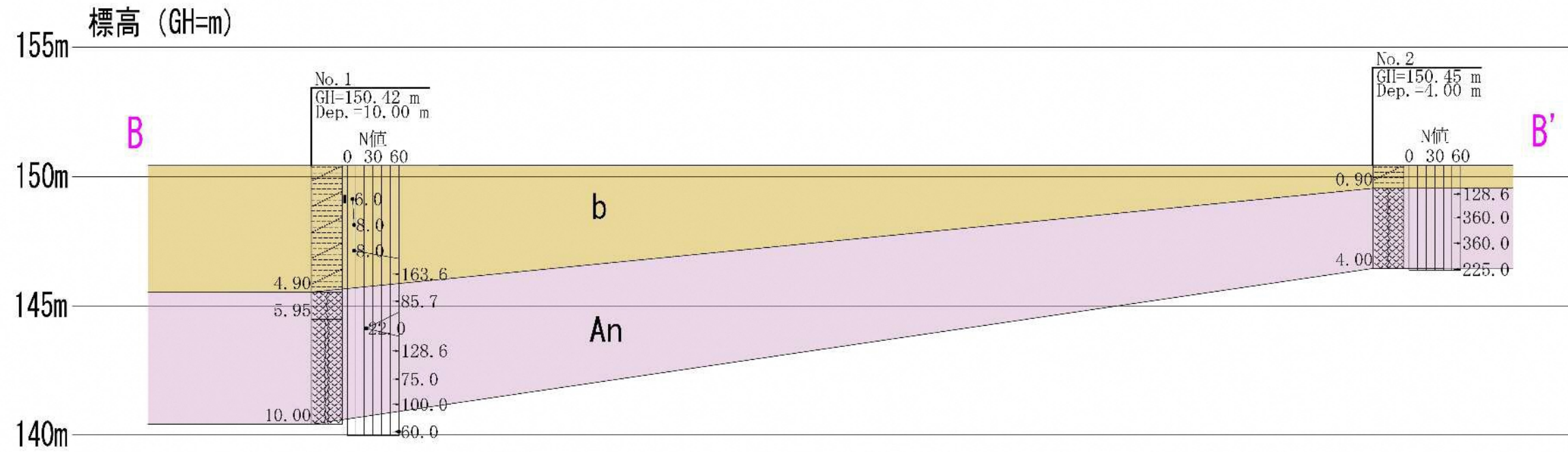
層序表

地層名	記号	データ数	平均N値	層相
盛土	b	4	8.5	砂混り粘土状。 φ2mm~10mmの垂角礫が混入する。
大村安山岩	An	14	129.6	片状~棒状コア主体。 ハンマーで容易に割れる。

凡例



地層断面図 1:200 (A3)

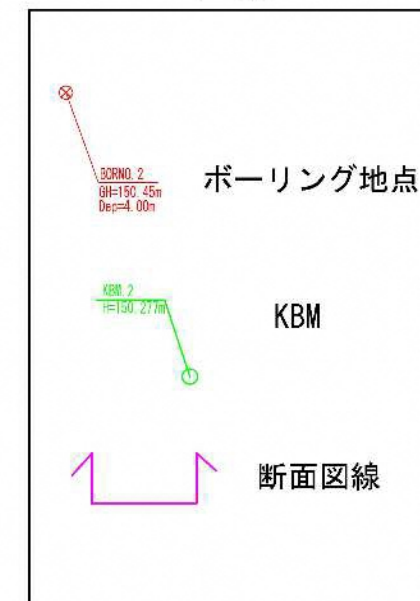


平面図 1:500 (A3)

層序表

地層名	記号	データ数	平均N値	層相
盛土	b	4	8.5	砂混り粘土状。 φ2mm~10mmの垂角礫が混入する。
大村安山岩	An	14	129.6	片状~棒状コア主体。 ハンマーで容易に割れる。

凡例



推定地層断面図 (BB' 断面)

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査目的及び調査対象 その他 構造物基礎

ボーリング名	No. 1	調査位置	長崎県大村市原町84番6及び池田2丁目1303番8の一部		北緯	32° 56' 21.2"
発注機関	長崎県県民生活環境部生活衛生課	調査期間	令和06年06月10日～令和06年06月10日		東経	128° 28' 31.5"
調査業者名	株式会社オリエンタルコミュニケーションズ 電話(092-411-6209)	現場代理人	都築 正宏	コア鑑定者	ボーリング責任者	新福 人士
孔口標高	T.P. 150.42 m	富安 浩	試験機	D0ーDL	原位置試験	深度
総削孔長	10.00 m	地盤勾配	エンジン	NFD-9	ポンプ	BG-3CL
		方位	使用機種			
		角	新直	0°		
		度	水平	0°		
			北	0°		
			東	90°		
			西	270°		
			南	180°		

標尺 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對稠度	相對密度	記 事	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験 深度 (m)	試験結果 試験及び	試料採取 試料番号	室内試験	削孔月日
										N 値	深度 (m)	100mm以上の打撃回数	打撃ごとの貫入量					
1										6.0	1.15	1	6		1.15	1-1	物理	
2			砂混り粘土	茶褐色 灰			0.4mまでは埋土、Φ2mm~10mmの垂角礫が全体的に混じる。2.5m~2.7m付近及び3.8m~4.2mは礫が優勢となり、掘進時に逸水。		1.45	2	3	300		1.45				
3										8.0	2.15	2	8					
4										8.0	2.45	2	8					
5	145.52									163.6	4.15	42	60					
6	144.47		風化安山岩	灰 暗灰			コアは棒状~片状にて採取、亀裂が発達し、亀裂間に粘性土を挟む。		5.15	22.0	5.36	20	60					
7										128.6	6.15	7	22					
8										75.0	7.10	22	60					
9			強風化安山岩	褐色 暗灰			5.5m~6.8mは風化が進行しており、固結粘土状を呈する。岩芯が少し残る。7.0m以降は亀裂間に粘性土を挟む。		8.15	100.0	7.24	40	140					
10	140.42									60.0	8.39	21	60					
11											9.15	22	60					
											9.33	80	180					
											10.15	16	60					
											10.45	24	300					

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査目的及び調査対象 その他 構造物基礎

ボーリング名	No. 2	調査位置	長崎県大村市原町84番6及び池田2丁目1303番8の一部		北緯	32° 56' 20.0"
発注機関	長崎県民生活環境部生活衛生課	調査期間	令和06年06月10日～令和06年06月11日		東経	128° 28' 32.1"
調査業者名	株式会社オリエンタルコミュニケーションズ 電話(092-411-6209)	現場代理人	都築 正宏	コア鑑定者	ボーリング責任者	新福 人士
孔口標高	T.P. 150.45 m	富安 浩	試験機	D0ーDL	原位置試験	深度
総削孔長	4.00 m	地盤勾配	エンジン	NFD-9	ポンプ	BG-3CL
		方位	使用機種			
		角	0°			

標尺 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対稠度	相対密度	記	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験	試験採取	室内試験	
										N	深度 (m)	100mm以上の打撃回数	打撃ごとの貫入量				50回の貫入量
1	149.55	砂混り粘土	砂混り粘土		暗灰			0.4mまでは埋土。0.4m以深は亜角礫を含む粘性土。		128.6	1.05	27	60	60			
2		風化安山岩	風化安山岩		灰く暗茶灰			ハンマーで破壊できる硬さ。局所的に風化が進行しているが全体的には固結。		360.0	1.19	40	140	60			
3										360.0	2.00	60	60	60			
4	146.45									360.0	2.05	50	50	50			
5										225.0	3.00	60	60	60			
											3.05	50	50	50			
											4.00	60	60	60			
											4.08	80	80	80			

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査目的及び調査対象 その他 構造物基礎

ボーリング名	No. 3	調査位置	長崎県大村市原町84番6及び池田2丁目1303番8の一部			北緯	32° 56' 20.0"
発注機関	長崎県県民生活環境部生活衛生課	調査期間	令和06年06月11日～令和06年06月12日			東経	128° 28' 30.9"
調査業者名	株式会社オリエンタルコミュニケーションズ 電話(092-411-6209)	現場代理人	都築 正宏	コア鑑定者	ポリーング責任者	新福 人士	
孔口標高	T.P. 150.44 m	富安 浩	主任技師	富安 浩	試験機	D0ーDL	
総削孔長	5.00 m	方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	使用機種	エンジン NFD-9	
		角度	上 0° 下 90° 180°			ポンプ BG-3CL	

標尺 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相對稠度	相對密度	記 事	孔内水位 / 測定年月日	標準貫入試験				原位置試験及び結果	試験採取方法	室内試験	削孔月日		
										N 値	深度 (m)	100mm以上の打撃回数	打撃ごとの貫入量					50回の貫入量	自沈時の貫入量
1	148.64		砂混り粘土		茶褐色			0.4mまでは埋土。0.4m以深はφ2mm～10mmの垂直角礫が混じり、固結粘土状を呈する。		12.0	1.15	4	4	12	300	1.15	3-1	物理	
2	1.80									66.7	2.10	22	16	60	270	1.45			
3			風化安山岩		灰			4mまでは風化が進行。ハンマーで容易に変化する硬さ。		94.7	3.10	17	43	60	190	1.45			
4										81.8	4.10	21	26	13	60				
5	145.44									150.0	5.10	25	35	60	120				
6											5.22	20	20						